

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：EUKITT® neo
製品番号：6.00.01.0003.04.01.EN, 6.00.01.0003.06.01.EN（メーカー略号: ORS）
構成品名：EUKITT® neo
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

誤えん有害性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
- 漏出物を回収すること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 無理に吐かせないこと。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- 貯蔵
 - 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 - 施錠して保管すること。
- 廃棄
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 特定の物理的及び化学的危険性
 - 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：MMA(メタクリル酸メチル)

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
d-リモネン	98	5989-27-5	3-2245; 7-988; 8-498
メタクリル酸N-ブチル	0.99	97-88-1	2-1039
メタクリル酸メチル	0.99	80-62-6	2-1036

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

d-リモネン(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メタクリル酸メチル、

d-リモネン(令和7年4月1日施行)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**特有の消火方法**

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

エアロゾルの生成を避けること。

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管**安全な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。常温で保存すること。直射日光、熱を避け、酸化性物質と離して保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(メタクリル酸メチル)

日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m³

(メタクリル酸メチル)

ACGIH(2015) TWA: 50ppm;

STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺水腫)

特記事項

(メタクリル酸メチル)

皮膚感作性

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(有機ガス用防毒マスク)

手の保護具

保護手袋を着用する。(不浸透性)

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：淡黄色

臭い：特異臭

沸点又は初留点及び沸点範囲：> 174°C

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：> 48°C

自然発火点：255°C

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱、火気、静電気

混触危険物質

酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015), 7900mg/kg, 8500mg/kg, 9400mg/kg (以上ECETOC JACC3 0, 1995)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rabbit LD50 > 5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2015); < 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の90%

労働基準法：疾病化学物質

メタクリル酸メチル

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002); ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA C L Invt., Access on Jun. 2017)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性 [厚労省局長通達]

メタクリル酸メチル

呼吸器感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; 産衛学会, 2012

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(d-リモネン)

cat. 1; CICADs No.5, 1998

(メタクリル酸N-ブチル)

cat. 1B; mouse/陽性 (OECD TG 429, GLP) (REACH登録情報, Accessed Jan. 2022)

(メタクリル酸メチル)

cat. 1; EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012; EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性

[成分データ]

[IARC]

(d-リモネン)

Group 3：ヒトに対する発がん性については分類できない

(メタクリル酸N-ブチル)

Group 2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(メタクリル酸メチル)

Group 3：ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(メタクリル酸メチル)

A4(2015)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸N-ブチル)

気道刺激性 (環境省リスク評価第11巻, 2013)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

麻酔作用 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性

[製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(d-リモネン)

cat. 1; hydrocarbon, (文献値): kinematic viscosity=0.897 (25°C) and 1.1 mm²/s (25°C) (CL

H Report, 2018)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(d-リモネン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.307mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=0.702mg/L/96

hr (EU CLP CLH, 2018)

(メタクリル酸N-ブチル)

魚類（メダカ）LC50=5.57mg/L/96hr（環境省リスク評価第11巻, 2013）

（メタクリル酸メチル）

甲殻類（オオミジンコ）EC50=48mg/L/48hr（EURAR, 2002）

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

（d-リモネン）

藻類（ムレミカヅキモ）NOErC=0.05mg/L/72hr（環境省初期評価, 2021）

（メタクリル酸N-ブチル）

甲殻類（オオミジンコ）NOEC（繁殖）=1.1mg/L/21days（SIDS, 2009）

（メタクリル酸メチル）

甲殻類（オオミジンコ）NOEC（繁殖阻害）=3.5mg/L/21days（環境省生態影響試験, 2017）；藻類（P

seudokirchneriella subcapitata）NOEC（速度法）= 86mg/L/72hr（環境省生態影響試験, 2017）

水溶解度

（d-リモネン）

非常に溶けにくい（25℃）（ICSC, 2005）

（メタクリル酸N-ブチル）

非常に溶けにくい（0.08 g/100 ml, 25℃）（ICSC, 2009）

（メタクリル酸メチル）

1.6 g/100 ml（20℃）（ICSC, 2003）

残留性・分解性

[成分データ]

（d-リモネン）

急速分解性なし（BIOWIN）

（メタクリル酸N-ブチル）

急速分解性あり（BOD分解度=88%/28 days; GC分解度=100%/28 days（通産省公報, 1997））

（メタクリル酸メチル）

BODによる分解度：94.3%（化審法DB, 1976）

生体蓄積性

[成分データ]

（d-リモネン）

log Pow=4.2（ICSC, 2005）

（メタクリル酸N-ブチル）

log Pow=2.88（PHYSPROP DB, 2009）

（メタクリル酸メチル）

log Pow=1.38（PHYSPROP DB, 2005）；Log Kow=1.38（20℃）（環境省環境リスク評価 第11巻, 2013）

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：2052

品名（国連輸送名）：ジベンテン

国連分類（輸送における危険有害性クラス）：3

容器等級：III

指針番号：128

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：該当

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類) d-リモネン; メタクリル酸メチル

有害液体物質(Z類) メタクリル酸N-ブチル

国内規制がある場合の規制情報

消防法の規定に従う。

船舶安全法：引火性液体類 分類3

航空法：引火性液体 分類3

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

d-リモネン(別表第9,令和7年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険/有害物

メタクリル酸メチル(別表第9の557);

d-リモネン(別表第9,令和7年4月1日施行)

別表第1 危険物（第1条、第6条、第9条の3関係）

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法：非該当

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

メタクリル酸メチル

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。